

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年1月実施]

R3 学校教育自己診断の回答より ※年度 (%) … (生徒回答)

問 2. 授業はわかりやすく工夫されている。

H29(73) H30(78) H31(79) R2(77) R3(78)

生徒(78) 保護者(53) 教員(88)…(R3 三者比較)

※「オープンクラス」による教員間での授業見学や研究協議の機会が増加し、授業内容のレベルアップにつながっている。継続していく。保護者が授業を見学する機会等についても検討の必要あり。

問 6. 将来の進路や生き方について、学んだり考えたりする機会がある。

H29(74) H30(78) H31(81) R2(84) R3(86)

(R3 三者比較)生徒(86) 保護者(86) 教員(69)

※1年生からのきめ細やかな進路指導が実現しつつある。一部の教員、分掌のみが進路指導を担うのではなく、学校全体で取り組む必要がある。

問 8. 学校の決まりやルールを守っている。

H29(87) H30(92) H31(88) R2(92) R3(91)

(R3 三者比較)生徒(91) 保護者(83) 教員(25)

※生徒一人ひとりの自覚もあるが、教員はルールを守らせる立場にあり、ぶれのない指導体制の積み上げが課題である。

問 11. 先生や学校は、いじめにしっかり対応してくれる。

H29(80) H30(84) H31(83) R2(82) R3(86)

(R3 三者比較)生徒(86) 保護者(83) 教員(79)

※いじめ対策チームによる啓発からいじめに対する教員間での共通理解が深まり、どの学年でも即時対応できるようになった。

問 12. 悩みや相談に応じてくれる先生がいる。

H29(78) H30(83) H31(72) R2(71) R3(77)

(R3 三者比較)生徒(77) 保護者(83) 教員(90)

※生徒からの相談にはていねいに対応できている。気づきと情報共有、教員から生徒へのさらなる声掛けが課題である。

問 14. クラブ活動や生徒会活動は活発だ。

H29(60) H30(66) H31(67) R2(69) R3(70)

(R3 三者比較)生徒(70) 保護者(52) 教員(10)

※クラブ活動への加入人数は少ないが、加入者自身の満足度は高い。加入人数の関係で三者比較に大きな差が出ている。生徒にとって、魅力とやりがいのある部活動づくりを支援していきたい。

問 16. 校内はきれいな状態である。

H29(59) H30(65) H31(63) R2(60) R3(68)

(R3 三者比較)生徒(68) 保護者(52) 教員(41)

※清掃指導が学年やクラスによって差異が生じている。教職員・生徒一体となった体制づくりが課題である。

問 24. 福泉高校では、生徒指導において、家庭との連携ができています。

(R3 二者比較)保護者(80) 教員(87)

※些細なことでも家庭との連携を密にすることによって、生徒一人ひとりに応じた指導を行っている。